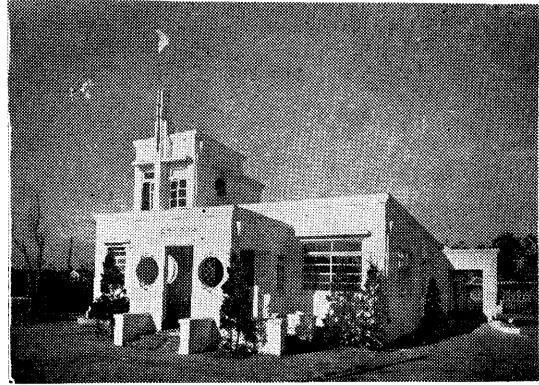


昔 の こ と



高 浜 き み の

この度日本幼稚園協会から御書面に接し本
よう。

年は我が国に幼稚園が創設されてから八十周年に当り就ては昔の幼稚園に直接関係して居りました者に其頃の思い出、実際にやって居られた内容、その頃の幼児の事、幼稚園界のこ
と、など思い出されるまま申越す様にとの仰
せて御座いますが何しろ昔の事とて忘れたる

一、幼稚園所在地

東京市本郷区湯嶋新花町 女高師内設置

二、園舎 「本園、分園、の二つに分る」

本園

保育室 三室 年齢別 各三十名

遊遊室 標本室 職員室 參觀人控室 練

事も多々ある事と
思いますが兎に角
左に記す事にいた
しましょう。

私は明治三四年

東京女子高等師範
学校保姆練習科生

として保育の実際
指導を受けました

只今御園には其当

時の先生方は御一
人も御出になりま

せん就ては其当時
の思い出の一端を

記させて頂きまし

習性控室 附添人控室 使丁室 便所
分園

一分室と云い附添人控室の横に二十坪程の一
室にて年少、年長、合併にて保育す

三、幼児家庭

本園は東京市内の実業家、高官、などの知
名の家庭

分園は園附近の普通家庭及程度の低い家庭
四、幼児の状況

本園児は上流の家庭にて万事意のままに自
由に養育されたる幼児多く通園の際は二人乗
り人力車に書生或は乳母など、相乗りにて来
り退園迄待つ車も何時も数台あった他は送迎
丈に車を使用する家庭も多かった中には使用
人任せの家庭も多いものとして男児は概して我
儘だった。然し幼児たりとも一の見識を持ち
意気洋洋として通園されたる様は真に貴公子
の様であった。男女児共言語は明瞭で社交性
に富み、まま事遊びの時など驚きの目を見張
る事も多かった。

五、先生

主事、副主事、は男の先生。他六名は女の先

生。組の担任は女の先生で教生は一組五名位

六、保育の実際

文部省令中の保育五項目 「遊戲 唱歌

談話 画方 手技」等を適当に実施した。

イ 遊戲

かごめ 蝶々 かり 汽車 ここなる門

家鳩 兄弟 猫と鼠 其他リズム遊び等

ロ 唱歌

當時は幼児に適當したる歌曲少なく小学唱歌集中の六つヶ数歌を唱へた事もある随つて平易に愛らしい歌をと研究せらるる折柄幼年唱歌集出版せられ以來其中的の金太郎、桃太郎、かちかち山、浦島太郎等々の歌を盛んに唱へた次には園児に最も適したる幼稚園唱歌も出版され以後は主に其中より撰択して唱へた。

先生おはよう、ひばりは歌い、鳩ぽっぽ猫の子、兵隊さん、さ様なら、等

幼稚園唱歌は副主事東基吉先生の御骨折りの賜物と感謝しました。

ハ 談話

日本昔噺、イソップ物語、神話、偶話、

其他其等より拔萃され談話材料として纏めたる本の中から主に使用された。

ニ 画方

1 石盤、石筆

2 画用紙、鉛筆 } 等を用う

自由画を主とし時には臨画もした。

ホ 手技

1 積木

積木は第一、第二、第三のフレイベル氏考案の積木より其形数等を改良し幼児に適應の改良積木として用い、自由に、模倣にと變化して遊んだ。

2 粘土

粘土のよくねりたるものと板、へら、ひご竹等を与つ。

幼児は自由に様々な形を表現して遊ぶこの遊びは最も喜ぶ遊びであつた。

3 繋ぎ方

材料として、色々の形の色紙の打抜、色麦稗ヒゴ竹、色糸、落葉、落花等交互に繋ぎ合せ首輪、腕輪等を作る

4 排べ方

金屬製の輪、「輪、半円、 $\frac{1}{4}$ 円」等、木製の箸、「直径一位長さ一寸から五寸位迄のもの」「又色板も用ゆ」輪箸共に交ぜていろいろの形を作る 家、道、汽車、鳥、花

植木鉢等

5 紐置

木綿六色の糸打紐

直径、二分位、長さ一尺五寸位のものの机の上に置き山、道、池、渦卷、だるま等單なる遊びとして興味を持たない。

以上手技の遊びとしては粘土細工は最も喜び次に画方、積木、繋ぎ方、排べ方位にて紐置などは變化乏しく好まなかつた。

明治三五年二月から二ヶ年余京都府下幼稚園に始めて保姆として奉職主席として中々責任重く学校時代養成された數々の事項を実施したに過ぎぬ。

明治三七年五月から三ヶ年余岡山県師範学校附属幼稚園に奉職、当地は有名な池田藩の城下町山陽の中心地として繁華街多くお城の周囲は静かにして有名な、後樂園、東山公園あり、学校は第六高等学校あり、医学専門學校

あり、両師範学校あり、中学校は市内二ヶ所、女学校は三ヶ所、幼稚園数も五ヶ所に及び各園とも吉備保育会など中心に盛んに発展していた。

保育の実際として特に記する事は庭園広く師範生用花壇には四季いろいろの開花結実等を観察して喜んだ。

明治四十一年二月から昭和七年四月まで大阪市立精華幼稚園に奉職、当時は公立幼稚園のみとも東西南北の区に各七園位あった其の後郡部が市に合併され公立数も相当増加したと思ふ。戦時中休園せし園も一昨年の如く幼児数非常に多く一時入園難を叫びたる為の再び開園の必要にせまられ現在にては多大の数に及ぶと思ふ。

保姆研究機関として、各区、市、三市聯合保育会などあつて修養に研究発表に努力した。今より十余年前からは全国保育大会として一層の発展を来し各都市交互に開催する事になった。

大阪市は私立幼稚園も益々増加し幼稚園聯盟の組織、内容共に充実し数年前二十周年記

想

い

出

——お茶の水女子大学附属幼稚園同窓会
ちくま会の席上にて(昭和31.4.8)——

渋沢 秀雄

五十八年前には、秀雄ちゃんという呼称にふさわしい少年で……、只今は御覧のようにならなりました。切角ここに立ちましたついでに、皆さんの想いを誘い出す一つのてだとして、私の幼稚園におりました頃の、かすかに残った記憶を申し上げます。

明治三十二年に幼稚園を卒業したのでございますが、入園いたしましたのは明治三十一年でございます。幼稚園は当時お茶の水にごさいますとして、お世話を願った先生は清水先生という、大層にこにこしたやさしい先生で、その頃は相当の御年配だと思つておりましたが、今お目にかかれば恐らく私の娘よりもお若い方だったろうと思ひます。その清水先生が折り紙とか手工とか、遊戲を教えて下さいましたが、その時お習

いした歌に、「来てみよきみよ、我が箱庭へ……」という歌があつて、ふしは「トゥインクル、トゥインクル」に似ています。

そのほか「かごめ、かごめ……」「ひいらいた、ひいらいた」などを習いましたが、いまだによく歌われているので、その歌を聞きますと、五十八年前に飛び帰ったような気がいたします。

その頃、私の級の友達が、こんにやく玉というのを持っておりました……今は余りありませんが、それを板のところに叩きつけると、ゴムまりのようにはずんできます。私はそれが非常にほしくなってきました。

その時家で唐金でこしらえた亀の子の置き物を貰つておりましたので、その唐金とこんにやく玉を交換して、家に帰って得意になつてみせたら、それは非常に不利益であるということと、「そんな馬鹿なことがあるか」とたしなめられたことがあります。三つ子の魂百までという言葉がございますが、どうもいまだにこんにやく玉と唐金と交換するようなところが残っている次第です。

その頃、同じクラスの「正ちゃん」と喧嘩をいたしました、幼稚園のクラスが二つ

念式典を盛大に挙行了た。

園児の服装

明治四十一年頃の幼児は商業中心地の大阪では男児はカスリの筒袖の着物に下丈の小さい前だれ掛け女児は友染の着物に友染の小さい前だれの児が多かった。

明治四十五年頃には女児は友染の元録袖に白の前掛を胸から掛ける様になった。

大正五年頃には進んだ家庭は運動に便利な服が多くなった現在では園の徽章を入れた上衣を一般に用うる様になった。

保育の実際

都市に生活せる幼児は人事的事項を目撃する事のみ多く随って五項目中にも特に自然観察をなす事を多くし園内庭園にも出来得る限り樹木を多くし毎月一回は園外保育をなして自然観察を存分にさせた。そして身体健康も増進させる事に注意した。随って恩物なども室の内外を問わず使用し可成大きく筋肉を働かすべくヒル氏の積木など盛んに使用した。

イ幼児は力一ぱい運んで何事か構成する事

に分れて、あい争つたことがありました。その当時の幼稚園は、校舎の前に芝の生えている築山がございまして、その築山を通つていくと小学校に通ずるようになっていたと思います。私はその芝生の築山のふもとに立ちましたが、築山の上にいる正ちゃんのほうには、何人が覚えていませうかえて、んが、数人の味方がいるのです。それに私のほうにはたった一人の味方しかおりません。その忠実であつた味方は神田のやつちゃんという子供で、神田川の古い鰻屋の息子さんだつたそうですが……敵は、大勢、味方は一人……これは私の政治性がない、若しくは引率力がなかつたという結果なので、今でも組織の中に入つて働くことが不得手なのは、三つ子の魂百まで……。

その時分の小学校を一緒に出まして、今でも健在の同級生があります。それは男の友達であります、女の子の友達がお君ちゃんという名前だけ覚えておりますが、どんな方か忘れてしまいました。それでも名前を覚えているところを見ると、五十八年前の私のガール・フレンドだつたと思います。

五十八年前は、家は日本橋にございました、そこからお茶の水に通いましたが、電車はございませんで、鉄道馬車がございました。今川橋の角に絵草紙屋がございました、そこにかけかえられるいろんな絵草紙を見るのが楽しみでした。

こんなことを取とめなく申してまいりますと、お退屈になると思いますからやめますが、皆さんこういう会場にお集りになると、おそらく絵巻物の如く、皆さんのおつむりの中を想い出が過ぎていくと思います。が、国に歴史がある如く、各個人の人生に想い出があるということは、非常になつかしい、尊いことだと思ひます。想い出も歴史もないということの、如何に寂しいことであるということは、いろんな場合にしよう中、遭遇しておりますが、どうぞこの会がありますと共に、過去になじむという意味で、それぞれの想い出をそれぞれに生かしていつて、くりかえし同じような想い出を回想するというこの会合にのぞんだ場合に、やつぱりその想い出はさらに幸福であるということにしたいと思ひます。

(実業家・東映取締役)

を樂しむ、次に其出来上った物を

口使用して存分に遊び戯れる。

例へば、家、汽車、電車、橋、舟等、

ハ出来上ったものを元の箱、或は位置に整頓する事を樂しみ時には其まゝ翌日迄置いて一層進んだものを作る事もあった。

画方はクレヨン、ポストカラー、墨などにて画用紙ハツ切、四ツ切、全紙などを用いて自由に、写正に又談話中の想像画など寄せ書きする事もある。

夏休みを利用し八月一日から七日迄南海沿線の助松の海岸へいった。

広々とした海を眺めながら松林の間を逍遙し美しい砂浜で、お池を作ったり墜道を掘ったり相撲を取ったり唯わけもなく寝ころんだりして遊んだ。昼食後準備運動をなし、始めは五分、十分、十五分と三回位に分けて海水浴をした。終りに体重を計った時より多きは百目以上も増加し幸減じた児は一人もなく始めと同様であったもの二百名中三名であった。京大地質学研究室発表の通り慥かに健康地なる事を認めこの理想地にて虚弱幼児を健康に

導く必要を感じた。

昭和八年九月ヨリ二ケ年間京都市私立永観堂幼稚園に奉職、当園は浄土宗本山永観堂境内に園舎あり、庭園は有名な東山山麓を控へ山紫水明閑雅の靈地にて大正天皇御即位記念に下賜された園舎ありこの理想地に於て保育せば心身共に健全なる發育をなす事疑なしと嬉しく思った。

幼児家庭は上流。通園には遠方の幼児は自動車にて送迎えした。

保育の實際

庭園広く山あり川あり池あり自然の突起面白く高く低く変化に富めるこの環境を利用して恩物なども適所で実施したかかる環境地に於て保育せば心身共に健全なる發育を遂ぐると思つた。

毎月一回は遠歩きとして南禅寺から東山の中腹を過ぎ若国寺を隔て帰園した。

昭和十年十月ヨリ大阪府泉大津市助松私立海への幼稚園奉職

昭和九年助松海岸に三十坪余のバンガローの一室保育を始む

保姆四名、幼児四名から始む

海べに近く風雨の際など稍困難を感じ助松旧国道に移転し園舎を新築した。

室数

保育室三、職員室一、来賓室一、静な室、休養室、給食準備室、遊戲室等庭園

花壇、温室、フレイム、畑、其他、池細川八羊、ブタ等の小屋あり庭統きの松林は四万坪余ありて、大好の海に臨む

家庭

理解ある上流家庭多く大阪より虚弱児も三十名余電車にて来園した。

給食支給

大阪市衛生試験所の後援の元に家政科専門の主任と三名の助手にて調理支給した。この効果について家庭では大に喜んだ。

以上の如き広き庭園から恵み多く觀察しながら面白く遊び研究する事が出来た。

戦時中空襲激しく不幸にして休園し現在は大阪市戦災孤児を収養す。

(大阪府泉北郡高石町六三七)